

上 田 勉

【**檜葉町**】◇**檜葉スマートインターチェンジ**◇**スカイアリーナ**（新体育館）が新規オープン
◇**J ヴィレッジ**が最終オープン、◇**JR 常磐線 J ヴィレッジ駅**が開業
◇**道の駅**ならばが再オープン

檜葉町では、3月21日に常磐自動車道の檜葉スマートインターチェンジがオープン、4月13日にはスカイアリーナ（体育館）がオープン、4月20日にはJ ヴィレッジが最終オープンと JR 常磐線 J ヴィレッジ駅が開業、4月25日には道の駅ならばが再オープンしました。3月から4月にかけて、檜葉町は各施設のオープン、再オープンで盛り上がりました。

常磐自動車道にはこれまで檜葉パーキングエリアがありました。これからはこのパーキングエリアから、ETC 車のみが入ったり下りたりすることができます。ただし、町の人達は、現在も被災者のための高速道路料金の無料パスを持っています。このパスでは、有人のインターチェンジからしか出入りができないので、この IC は利用しません。

スカイアリーナは、新体育館です。屋内には、バトミントン等の球戯場、フィットネスや温水プール（25m）があります。ちなみに使用料金は、フィットネスもプールも共に 1 回 500 円です。維持管理費は、年間 5 千万円～1 億円かかります。採算が取れるのかどうかは未定です。

J ヴィレッジは、サッカーの聖地です。2002 年に開催されたサッカーワールドカップ日韓大会では、日本代表の合宿地になりました。福島第一原発事故の後には、廃炉や除染の関係者や作業員の前線基地になりました。関係者の人達は、ここで大型バスに乗り換えて、作業に向かいました。

JR 常磐線 J ヴィレッジ駅は、臨時停車駅です。サッカーの試合やイベント等があれな、電車は臨時停車します。

道の駅ならばは、原発事故後は、双葉警察署の仮庁舎になっていました。土産物店の他に、食堂や日帰り温泉・ワーキングスペースなどがあります。ちなみに、食堂のマミーすいとん定食がお勧めです。温泉は 1 回 7 0 0 円です。

檜葉町は避難指示が解除されてから、3 年 7 か月になります。帰って来た住民は、5 割弱です。檜葉スマートインターチェンジ、スカイアリーナと道の駅ならばの建設には、国から復興交付金が交付されます。しかし、維持管理費には補助金は交付されません。（地方交付税の算定にはなるが）。檜葉町と富岡町には福島第二原発があるので、電源三法の立地交付金が支給されています。しかし、福島第二原発が廃炉になったら、交付金は削減されます。また、固定資産税も減少します。

避難先から町に帰ってくる住民も、これからは少なくなります。そして、人口減少と高齢化によっても、町の歳入は減少します。多くの大型施設がオープンしましたが、檜葉町の財政運営は、これからが正念場です。



【ETC車専用の檜葉スマートインターチェンジ（檜葉町）】



【温水プールやジムがある檜葉スカイアリーナ（新体育館）（檜葉町）】